



**ウォーキング**  
水中歩行は、泳ぎが苦手な人や、足腰が弱い人にもプール利用の幅を広げた。



スイミング



**リハビリ**  
リハビリや予防医療など病院施設に利用される機会も増えた。



**アクアエクササイズ**  
水の特性を活かし、世代を選ばず効果を発揮するアクアエクササイズ。

# プールの床機能も最新に。より快適なプールに。 新機能フロア「アクウォーク」の誕生。

## 常に快適なプール施設を 目指し進化する技術

ヤマハのリニューアル技術は、短期施工で低コストの対応を可能とし、学校やスポーツクラブ、競技施設向けなどの用途や設置場所を選ばない。

改修工事において、とりわけ工場で製造されたFRPプールユニット設置による工期の短さは、作業中の人件費や、材料費にも反映されるのだ。

コンクリートや金属プールからのリニューアルも、既存の躯体を活用することで、効果的に新しいFRPプールにすることが可能だ。

## プラスセラミックにより さらに機能面に重点を

ヤマハFRPプールの歴史の中で、高級仕様ともいえるのがプラスセラミック技術だ。これは、表面にタイルを纏ったバリエーションで、特にスポーツクラブやリラクゼーション用のプールに採用されてきた。

プラスセラミックの特性は、その外観と劣化しない耐久性が大きな魅力となっていたが、タイルは長年利用による目地やせや、割れ、はがれなどの維持管理面の問題もあり、滑らかな表面は水中歩行やアクアエクササイズなどの利用目的にはもの足りなかった。そこでフロアの機能性向上が新たなニーズとして着目されるようになった。

## 新機能フロア 「アクウォーク」の開発へ

こうしたことを背景に、ヤマハは新しい機能をもったプールフロア「アクウォーク」を開発した。

「アクウォーク」は、すでに2009年度末に、関東のスポーツクラブのプール改修にもない納入・設置されている。

正方形のブロックパターンで構成されるこの「アクウォーク」は底面を歩く際に、より安定した歩行ができる床として企画され、水中歩行やアクアエクササイズなど幅広い活用が期待されている。

今号では、新しいプールの設備機能「アクウォーク」についてレポートしてみよう。

